令和5年度第2回さいたま市発達障害者支援連絡協議会　議事概要

開催日時：令和5年11月20日（月）　10時～12時

開催方法：障害者支援センター　2F研修室

出席者名：委員・・・名越　斉子委員、鈴木　朋憲委員、天野　尚子委員、石丸　靖子委員、小島　正美委員、本間　政宏委員（代理出席）、西川　将也委員、國分　留志委員、井上　野歩委員、藤田　優委員、岡田　清華委員、市原　菜央委員、大迫　利衣委員（代理出席）、福田　幸代委員、枝　秀威委員、井上　雄貴委員（敬称略）

事務局・・小泉　秀幸、太田　邦子、森居　深雪、菊地　義徳

欠席者名：委員・・・河西　有奈委員、三浦　信子委員、中野　昭江委員、佐藤　忠広委員

（敬称略）

配布資料：次第

令和5年度さいたま市発達障害者支援連絡協議会　委員名簿

さいたま市発達障害者支援センター報告資料

令和5年度第1回　さいたま市発達障害者支援連絡協議会作業部会　議事概要

公開又は非公開の別：非公開（さいたま市情報公開条例第23条第2号に掲げる場合に該当するため｛同条例第7条第2号に規定される不開示情報に該当する事項について審議し、又は意見を聴取するため｝）。

議題:

1. さいたま市発達障害者支援センター　事業報告

令和4年度の事業について事務局より報告。

1. 第1回　さいたま市発達障害者支援連絡協議会作業部会　協議内容の報告

9月25日に実施された、作業部会で協議した内容について事務局より報告。

1. グループワーク

　　　委員の所属領域ごとにグループに分かれ、各機関の現状と課題について共有した。

　　　・教育領域：本人の障害の受け止めが重要であり、適切な合理的配慮に繋がるかの鍵になる。また、啓発が不十分だと当事者を支援から遠ざけてしまう懸念がある。

　　　・児童領域：支援数は増えているが、支援の質が伴っているかは不安。人材の育成が必要。

　　　　保護者への支援（不安な気持ちの受け止めなど）も課題である。

　　　・大人・精神領域：成人期からの支援の入りづらさ、幼少期からの支援の大切さを感じている。教育現場での発達障害への気づきの現状について知りたい。

　　　・就労・障害福祉領域：セルフプランでのサービス利用が増加傾向。自己理解が十分でなないため、適切と思われる支援に繋がりづらいという課題がある。

1. 事務局より事務連絡

・謝金の支払いについて

・第3回さいたま市発達障害者支援連絡協議会　開催時期について

以上